

科目名	日本語と社会	
担当者	安本 真弓 / YASUMOTO, Mayumi	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	私たちが日常生活で使用する言葉は様々であるが、すべて社会とのつながりを持っている。そこで、社会生活において言葉がどのように使われているのか、具体的な人間の行動とのかかわりの中で、日本語と社会との関係を考えていくことにする。
	到達目標	1. 社会言語学の意義を知り、言語を研究する姿勢を身につける。 2. 日本語の仕組みや、日本語と社会の関係について考えをまとめることができる。
授業計画	(1) ガイダンス (2) 社会言語学とは (3) 属性とことば① (4) 属性とことば② (5) 言語行動 (6) 言語生活 (7) 言語接触① (8) 言語接触② (9) 言語変化① (10) 言語変化② (11) 言語変化③ (12) 言語意識 (13) 言語習得 (14) 言語計画 (15) まとめ	
自学自習	事前学習	・「参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業内容をよく復習すること。
使用教材・参考文献	【教】教科書は特に指定しない。講義中に配布するプリントを用いる。 【参】真田信治他『社会言語学』おうふう、1992年、ISBN 4273026023 【参】岡本佐智子『日本語教育能力検定試験に合格するための社会言語学10』アルク、2008年、ISBN 4757414978	
成績評価方法と基準	<基準>社会言語学の意義、内容が理解できていれば、合格とする。 <方法>テスト50%、小課題30%、受講態度20%	
備考		